

吹田市立図書館メールマガジン

Vol. 427 2025. 7. 10

7月に入り、中央図書館の近くにある片山市民プールから楽しげな声が聞こえてくるようになりました。片山市民プールは、昭和37年（1962年）に市内初の市民用水泳場として建設され、以来多くの人々に親しまれています。現在では温水設備も整い、室内プールは一年中利用できますが、夏（7月・8月）限定で屋外プールが楽しめます。

-----<< 目 次 >>-----

- * 図書館インフォメーション
- * 本の紹介<蔵出し一冊>
- * 観る・聴く・読む<すいぽんセレクション>
- * 郷土の本だなくピックアップすいた>
- * 月間予約ランキング（文芸）
- * 休館（室）日のお知らせ

-
- 図書館インフォメーション
-

《休館（特別整理期間）のお知らせ》
下記の期間、図書 の点検・整理のため、北千里図書館及び健都ライブラリーは休館いたします。

7月15日（火曜日）から16日（水曜日）まで

- * 休館中は返却ポストにお返しく下さい。
- * 各特別整理期間中も他の図書館は通常通り開館しています。

《自習室の利用について（中央図書館）》
夏休み期間の自習室の利用を制限します
7月19日（土曜日）から8月24日（日曜日）まで、中央図書館の自習室の利用は、吹田市に在住、在勤、在学の方に限らせていただきます。
借出カードを2階のカウンターで見せください。
* 広域利用の借出カードの方はご利用いただけません。
* 借出カードをお忘れの方は、在住・通勤・通学の確認できるものをお見せください。

詳細はこちら→
https://www.lib.suita.osaka.jp/news/lib_01/7625.html

-
- 本の紹介<蔵出し一冊>
-

図書館職員が今までの読書体験の中から紹介する珠玉の1冊！

『かがくのとものもと』（福音館書店）
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1102590740>

昭和44年（1969年）に月刊の科学絵本として創刊された「かがくのとも」。その50周年を記念して刊行されたのが本著です。創刊からの601作品の解説のほか、折り込みふろくに掲載された作者たちの言葉や、絵本作家・林明子の幻の1コマまんがも掲載。近年、科学・技術・工学・数学を統合

的に学ぶ手法STEM教育が注目を集めていますが、子供たちにいかにして科学の目を開いてもらうのか、そのアプローチの視点は、大人の好奇心も刺激されます。(あ)

↓↓<蔵出し一冊>のバックナンバーはこちらへ!↓↓
https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=174

■□-----
□■ 観る・聴く・読む <すいぽんセレクション>
■□-----

7月25日は「かき氷」の日です。かき氷は別名「夏氷(なつごおり)」と呼ばれ、「な(7)つ(2)ご(5)おり」の語呂合わせと昭和8年(1933年)のこの日、フェーン現象により山形市で当時の日本の最高気温40.8度を記録したことから一般社団法人日本かき氷協会が制定しました。あつという間に梅雨が明け、夏本番の暑い日が続きます。かき氷に関する資料で涼しさを感じてください。

【図書】『真夏も雪の日もかき氷おかわり!』宇田川和孝/著(小学館)
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1102606915>
埼玉県熊谷市にあるかき氷の店「慈げん」。店主による、真冬でも人が並ぶしかけや工夫を紹介。かき氷の断面図も載っているので、味を想像しながら読むことができます。秘伝のレシピも掲載。

【図書】『かき氷の魔法』藤井孝一/著(幻冬舎)
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1101066870>
ある夏休みの暑い日、男の子がかき氷を売ることに挑戦。友達も参加したり、ライバル店があらわれたり、なかなかひとすじ縄ではいきません。子供を主人公にした起業の物語。

【DVD】『海のふた』豊島圭介/監督、よしもとばなな/原作
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1301629837>
都会に疲れ、故郷の海辺の町に帰ってきた主人公は、突然預かることになった、心に傷を負う「はじめちゃん」とかき氷屋を始める。素朴なかき氷は訪れた人々を癒し、店を切り盛りする二人もそれぞれの人生を見つめ直していく。劇中で登場するかき氷は、真冬でも行列のできるかき氷屋「埜庵(のあん)」店主、石附浩太郎(いしづきこうたろう)氏が監修しています。

↓↓図書館の特設情報は、公式Facebookへ↓↓
<https://www.facebook.com/pages/吹田市立図書館/100426516810969>

■□-----
□■ 郷土の本だなくピックアップすいた>
■□-----

《重要文化財に仲間入り》

昭和45年(1970年)開催の日本万国博覧会のシンボル「太陽の塔」。今年5月、文化審議会が国の重要文化財にするよう答申しました。「太陽の塔」は芸術家の岡本太郎氏がデザインを担当、博覧会のシンボルゾーンにテーマ館の中心として作られました。博覧会閉幕後にテーマ館は撤去されましたが、塔は現在も変わらず多くの人々から愛されています。耐震工事や復元作業を経て、塔の内部は平成30年(2018年)から一般公開されています。この機会に皆さんも足を運んでみませんか?

『太陽の塔からのメッセージ』川崎市岡本太郎美術館/編集(川崎市岡本太郎美術館)
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1101503995>
岡本太郎氏へのインタビューをはじめ、計画段階から完成に至るまでの過程を詳しく収録しています。

『太陽の塔Walker』(KADOKAWA)
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1102155259>

太陽の塔からインスピレーションを受けて生まれた作品や、グッズコレクションなどを掲載。

『EXPO'70 世紀の祭典日本万国博覧会50周年記念公式ガイド』（大阪府日本万国博覧会記念公園事務所）
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1102802605>
太陽の塔を含む博覧会のシンボルゾーンや、太陽の塔内部再生事業について詳しく紹介。

↓↓<ピックアップすいた>のバックナンバーはこちらへ！↓↓
https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=410

■□-----
□■月間予約ランキング（文芸）
■□-----

- 1位 『藍を継ぐ海』伊与原新／著（新潮社）
- 2位 『ありか』瀬尾まいこ／著（水鈴社）
- 3位 『宙わたる教室』伊与原新／著（文藝春秋）
- 4位 『カフネ』阿部暁子／著（講談社）
- 5位 『国宝 上 青春篇』吉田修一／著（朝日新聞出版） * 文庫本
- 6位 『国宝 上 青春篇』吉田修一／著（朝日新聞出版） * 単行本
- 7位 『踊りつかれて』塩田武士／著（文藝春秋）
- 8位 『国宝 下 花道篇』吉田修一／著（朝日新聞出版） * 単行本
- 9位 『国宝 下 花道篇』吉田修一／著（朝日新聞出版） * 文庫本
- 10位 『薬屋のひとりごと 16』日向夏／[著]（イマジカインフォス）

■□-----
□■休館（室）日のお知らせ
■□-----

≪全館休館日（北千里図書館以外）≫
7月31日（木曜日）

≪北千里図書館休館日≫
7月29日（火曜日）

≪特別整理期間に伴う休館日≫
図書館インフォメーションをご覧ください。

- * 中央図書館の休館日には、自習室も休室します。
- * 休館中は返却ポストにお返しく下さい。ただし、山田分室ではCD・DVDを返却ポストには入れず、開館時間中に館内の自動返却機にお返しく下さい。

=====

- ・次号は令和7年（2025年）7月25日配信予定です。
- ・ご意見、ご感想、お問い合わせは
<https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=141>まで。
- ・メールマガジンの配信登録・変更・解除は、図書館ホームページ<Myライブラリ>からお願いします。

↓↓<メールマガジン>のバックナンバーはこちらへ！↓↓
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1600000001>
* 2021年4月以降分。パソコン対応となります。

=====

編集・発行：吹田市立図書館
Copyright 2007 Suita Library
掲載内容を転載転送される場合は、図書館までお知らせください。
ホームページアドレス
<https://www.lib.suita.osaka.jp/>

公式X (旧Twitter)

https://x.com/suita_toshokan

7月のテーマは「夏」です。旬の味覚や恒例のイベントなど、暑い夏だからこそその楽しみがいろいろあります。時には嬉しくはない夏の定番も・・・。
様々な「夏」に出逢える資料を紹介します。

公式Facebook

<https://www.facebook.com/pages/吹田市立図書館/100426516810969>